

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

平成28年12月14日（水） 午後3時10分から午後4時15分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ5階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

| | |
|----------|--------|
| 教 育 長 | 小林 一雄 |
| 教育長職務代理者 | 城下 敦子 |
| 委 員 | 寺島 滋 |
| 委 員 | 北沢 秀雄 |
| 委 員 | 平田 利江子 |

○ 説 明 員

中村次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、小井戸学校教育課長、小林生涯学習課長、宮崎人権同和教育政策幹、浅野文化振興課長、滝沢スポーツ推進課長、丸子地域教育事務所係長、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、村山第一学校給食センター所長、竜野中央公民館長、滝沢城南公民館長、山崎上田図書館長

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

(1) 平成29年成人式について（生涯学習課）

○ 資料1により小林生涯学習課長説明（要旨）

昨年同様、新成人による成人式実行委員会が式の内容を企画し中学校区を中心に市内7会場で行う。日時は平成29年1月8日（日）で丸子、真田、武石地域は午前11時開式、上田地域は午後1時30分開式である。なお、該当者は平成8年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた方で該当者数は合計1,587名である。記念品は上田紬のカード入れである。

○ 全委員 了承

3 〈報告事項〉

(1) 学校給食に関する要望書及び署名について（教育総務課）

○ 資料2により小野沢教育総務課長説明（要旨）

平成28年11月24日（木）に上田市役所本庁舎3階第一応接室で学校給食に関する要望書及び署名が提出された。来庁者は、子どもたちをはぐくむ学校給食をめざす会の市場代表、保護者等約20人であり署名数は提出者申告で15,085名である。要望事項は、上田市学校給食運営審議会の答申に反する「今後の学校給食運営方針」の「統合・大規模センター」の建設は行わないこと。「単独調理場方式（自校方式）が望ましい」とした答申を尊重することである。署名を实际、精査したところ全体で15,139名の方の署名で市内が11,879名、市外が2,743名、県外が517名であった。今後、教育委員会のほうで細かな項目について部内で検討組織を立ち上げ、今年度中の策定を目標に基本的な具体的な方針を策定している。それが出たところで市民の方には分かりやすく説明させていただきながらご理解を得られるようにしていきたい。

○ 質疑

北沢委員

このことは議会でも一般質問がされている。そのときの答弁を概要でいいので教えていただきたい。

小野沢教育総務課長

議会においてはいろんな項目についてご質問いただいているが、主なところを申し上げる。まず、審議会の答申についてということで自校給食が望ましいとしていながらも、10,000食の大きなセンターをつくるという方向性になったのか。これに対しては、様々な理由があるが、例えばアレルギー対応について、現在第一と第二のセンターでできていないのでそれをできるだけ早くやっていきたい。そのためには施設を一体化してドライシステム化という衛生管理を徹底し、なおかつ、専用のアレルギー対応の調理スペースを設け、栄養士と専任の職員を配置して進めていきたい。また当然、人件費と運営経費という点からなど様々な検討をしたということであるとの答弁をしている。また、災害時に自校給食があると炊き出しなどができるが、そういったことは考えていないのかということに対し

ては、災害時には水道や電気、ガスなどの設備や職員が当日来られるのか、食材の調達など、そういったものの確保が前提になる。それについては、自校給食の活用というよりも備蓄防災庫などを設置し、そこで対応するというところで危機管理の部署とも協議し検討していきたいということであるとの答弁をしている。また、どうして審議会の答申から正反対の統合センターの方向性になったのかということについては、そういったことも含めて行政として総合的に判断して検討させていただいた。方針については自校給食の川辺と東塩田のそれぞれのPTAにしか説明していないが、今後、説明責任ということから、今の第一、第二給食センターを含めた全部のPTAに説明をするべきではないかということで、現在、具体的ないろんな項目をまとめているところである。それができたところで必要な情報提供、ご意見をいただくような取り組みをしていきたい。そのようなやり取りがあった。

北沢委員

今後も一般質問としてはあると考えているのか。

小野沢教育総務課長

今後もあると想定している。

城下委員

このあとどう進めていくのかを大事にしなければいけない。今年度中に策定方針を出し進めたいということである。該当する学校だけでなく全部のPTAのみなさんにきちんと説明していくという流れで今後進めていくということではどうか。

小野沢教育総務課長

新しい給食センターのいろんな仕様であるとか、一番関心があるのはアレルギー対応のあり方である。今、センター給食で比較的きめ細かな取り組みを行っているのは松本であるが、そういったアレルギー対応の方向性のあり方というものを上田市バージョンで作成したい。例えば、長野市は今年、アレルギーの対応方針をつくったがアレルギーに関するシンポジウムを開きPTAの方に情報提供をしたというような経過がある。そういった取り組みも考えられる。あとは、パブリックコメントである。それを介して提示し、市民の方から意見をいただき集計する取り組みもある。その辺の手法は未知数であるがそれは、全PTAの方にやっていく必要があると考えている。

○ 全委員 了承

(2) 学校教育関係寄附の状況（学校教育課）

○ 全委員 了承

(3) 平成28年度「青少年善行表彰」及び「家庭の日」作文審査結果について（生涯学習課）

○ 資料4により小林生涯学習課長説明（要旨）

青少年善行表彰は、青少年の健全育成のために、地域社会で善い行いをした青少年（団体を含む）を地域の住民、及び関係団体の推薦により表彰する。今年度は個人1名、団体で8団体である。今回、応募のあった個人1名と8団体全員を表彰させていただいた。「家庭の

日」の作文審査結果については、夏休みの課題として「家庭の日」の作文を市内の小中学生から募集をした。応募総数は381点であり、学校から教育委員会に提出されなかった分を含めると769点の応募があった。そのうち優秀作品6点、優良作品15点である。表彰式は12月10日（土）午前10時から11時に中央公民館3階大会議室で行われた。

○ 質疑

城下委員

毎月第3日曜日を「家庭の日」と定めたのはいつからか。また、作文は何年目になるのか。

小林生涯学習課長

確認したい。

城下委員

「家庭の日」を第3日曜日に定めているのをどれだけの人が承知しているのか。周知はどのようにしているのか。

小林生涯学習課長

毎週第3日曜日のときには有線放送で「家庭の日」であるとお知らせしている。

城下委員

少しでも目的に達成するべく動くのであれば作文だけではなく、もう少し「家庭の日」というもの自体周知させるための動きもあればいい。作文もいいがほかにも何か方法があればいいと思う。検討材料にしていきたい。

平田委員

表彰されたときの子どもたちの表情や様子はどんな感じか。

小林生涯学習課長

今回は一言ずつ感想も言っていただいた。特に市長から賞状をもらうということで緊張しながらも誇らしげであった。「家庭の日」の作文についても、昨年までは優秀賞のみをお呼びしていた。今年は優良賞含めてお呼びしたらほとんどの方がお見えになった。家族連れで写真も撮られていて大変喜ばれた。

平田委員

子どもたちにとって励みになることである。善行表彰の内容をみると長年にわたってというものが多いが、今回が初めての受賞になるのか。

小林生涯学習課長

一回表彰すると、次回同じものでは表彰していない。

平田委員

青少年善行表彰も「家庭の日」と同じく、周知徹底がされているかが難しい。子どもたちにとっては励みになることであるので、これがあるから行うというのは本末転倒であるが、善い行いをしている子どもたちを1名8団体だけではなく、たくさん応募がくるように周知

徹底をお願いできればと思う。

小林生涯学習課長

応募の段階で各団体に声掛けしていきたい。

○ 全委員 了承

(4) 学校支援について（生涯学習課）

○ 資料5により小林生涯学習課長説明（要旨）

コミュニティスクールについて、学校教育課、公民館、生涯学習課とプロジェクトチームを結成し、検討しているなかでシンポジウムを開催することになった。日程については、平成29年1月13日（金）16時30分～19時、会場はひとまちげんき・健康プラザうえだ多目的ホールで行われる。内容として事例発表、パネルディスカッション、講演会を予定している。参加対象者は学校評議員、学校運営委員会関係者、これから地域の学校を支援していこうと考えている方、すでにボランティア・コーディネーターをされている方、学校支援を担当している先生等、公民館関係者、教育委員会職員等である。定員は100名で、1月1日号の広報うえだでも一般の方にお知らせする。

○ 質疑

平田委員

感想のところは学校の現状を知らなかったという内容が多い。今、学校ではホームページなどで取り組みの内容を案内しているが、家庭に小中学生がいる家は少ないので、ホームページを見て学校の現状を知るといことは少ないと思う。どのくらい学校の情報が地域の方に伝わっているかという、伝わっていないところのほうが大きいと思う。今後どのようにして、より開かれた学校にしていくのかがとても大事になってくるのではないかと。また、双方に負担がない緩やかなネットワークをつくっていくという話しが印象的であった。コーディネーターをされている方が一生懸命努力され、このような連携ができていくということがわかった。今後、コーディネーターの立場というものを教育委員会としても考えていかなければいけない。1月13日のシンポジウムもたくさんの方に来ていただき知っていただくことが大事である。これまでも広報や公民館だよりで、ボランティアの募集を行っていると思うが、問い合わせはあるのか。

清水真田地域教育事務所長

公民館だよりで出しているが、問い合わせはなかった。

平田委員

出しても問い合わせがないということは、そこは何か考えていかなければならない。

小林生涯学習課長

今は、こんなことをやっているということを知っていただくことが大事であり、11月号の広報にも学校支援の広報を出し、今、チラシを作成し各家庭にも自治会回覧ができるようにしている。そんなことを通じて広報周知を図り、あとは地域の公民館から1対1のつながりをつくっていききたい。

○ 全委員 了承

(5) 4大学リレー講座実績報告（生涯学習課）

○ 資料6により小林生涯学習課長説明（要旨）

4大学リレー講座が10月29日（土）・11月12日（土）・19日（土）・26日（土）の4回にわたって開催された。10月29日は信州大学繊維学部、11月12日は長野県工科短期大学、19日は上田女子短期大学、26日は長野大学で、それぞれ講座のあとにキャンパスツアーがあり学生気分学びながら楽しめる内容であった。出席者の合計は186人で60代から70代が多かった。また、全回を受講した方は23人であった。

○ 全委員 了承

(6) 文化振興課寄附の状況（文化振興課）

○ 全委員 了承

(7) 第20回うえだ城下町映画祭開催報告（文化振興課）

○ 資料8により浅野文化振興課長説明（要旨）

合併10周年記念事業という位置付けもあり内容を充実させて開催した。11月14日（月）から20日（日）までの1週間、平日は上田映劇で土日は上田文化会館での上映であった。内容については映画上映18本、自主制作映画コンテストの表彰及び上映、またゲストトークやトークセッションをおりまぜてさらにロケ地ツアーも行った。なお、入場者数は延べ1,650人であった。

○ 全委員 了承

(8) こころのプロジェクト「夢の教室」実施報告（スポーツ推進課）

○ 資料9により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

今年度は市内7校14クラスで10月から11月にかけて実施した。講師もサッカーを始め、今年は障がい者水泳も含め多種多様な選手をお招きすることができた。ゲームの時間とトークの時間が分かれており、ゲームの時間のなかでチーム力が高まる体験ができたというような学校の感想をいただいた。

○ 質疑

平田委員

実施は学校の希望によるものか。

滝沢スポーツ推進課長

毎年、学校の希望をとっている。予算的にはお断りする学校もなく無事予算内で行うことができた。

平田委員

拝見させていただいた。とてもいい授業だった。今後、ほかの学校も申し込んだ場合はどうなるのか。

滝沢スポーツ推進課長

小学校5年生のクラスが対象になる。概ね150万の予算ということで来年度は300万の予算を要求している。そこまで予算が付くかどうか分からないがもし、150万の予算であれば継続して実施した学校については若干、遠慮してもらう場合がある。そのくらい希望が出てくればありがたいが、25年が3校、26年が5校、27年が6校と着実に増えてきている。予算を少し確保してクラス数も増やしていきたいと考えている。

○ 全委員 了承

(9) スポーツ関係市長表敬訪問者報告（スポーツ推進課）

○ 資料10により滝沢スポーツ推進課長説明（要旨）

小牧という団体名のママさんバレーボールチームが第6回全国ママさんバレーボール冬季大会に出場するため11月2日（水）に市長表敬訪問された。開催日は12月8日から11日まで、新潟市で行われた。記念品としてスポーツドリンクを差し上げた。

○ 全委員 了承

(10) 平成28年度 第56回上田市短詩型文学祭実施報告（中央公民館）

○ 資料11により竜野中央公民館長説明（要旨）

上田市短詩型文学祭は昭和36年に第1回が開催されて以来、今年で56回目になる。短歌、俳句、川柳、現代詩の4部門の選者16名による実行委員会を組織し、千曲市、坂城町を含む東信地域を対象に募集を行った。本年は、通常の賞のほかに、合併10周年を記念して「真田の里賞」を設けた。応募人数は2,022人で前年と比べると387人増であった。

○ 全委員 了承

(11) 行事共催等申請状況について（学校教育課・生涯学習課・文化振興課・スポーツ推進課）

○ 全委員 了承

4 〈その他〉

・ 竜野中央公民館長より公民館だより説明

○ 全委員 了承

閉会